



# 高虎PTA通信

第136号

発行 滋賀県立虎姫高等学校PTA / 〒529-0112 滋賀県長浜市宮部町2410 / TEL 0749-173-1305 / <http://www.torahime-h.shiga-ec.ed.jp>





## テニス部



今回、ベスト16に入り、1月に行われる近畿大会に出場することになりました。反省すべき点も多くありましたが、日々の練習を試合に活かすことができよかったです。近畿大会でも、先輩方から受け継いだ、応援と一体になる「虎高のテニス」で自分達らしく、精一杯戦ってきます。

## 剣道部



私たちは今回の秋季総体でベスト4に入ることができました。準決勝では相手のペースに乗せられて、簡単に一本を取られてしまいました。これから次の大会に向けて、もっと「上」を目指して、自分たちの残る試合だったので、感謝の気持ちを忘れず、日々の練習を頑張っていきたいです。

活躍した  
部活動紹介  
～秋季総体～

秋季総体ではシーズン最後の試合で部員全員気合いを入れて臨みました。結果は自己ベストが出せたり出せなかったりでしたが、それぞれが来シーズンに向けて目標を立てることができました。これから長いオフシーズンですが、トレーニングを怠らず、目標を達成できるように、いい結果を残せるように頑張りたいです。

## 水泳部



## 演劇部



演劇部は今回の県大会で2位という成績を収めました。近畿大会に出場することはできませんでしたが、部員が少ない中、何とか舞台をつくりあげることができ、本当にうれしく思います。来年は滋賀県で全国総文祭が行われるので、私達演劇部も精一杯盛り上げていきたいと思っています。

秋季総体では男子団体が3位、女子団体が2位という成績を収めることができました。しかし、納得できる点数での入賞ではなく、悔いの残る試合だったので、次の春季総体に向けて、今回の大会で見つかった課題を克服し、自分たちのベストを出し全国大会へ出場できるように努力していきます。

## アーチェリー部



秋季大会では初戦から苦しい試合でしたが、粘り強く戦い抜き、ベスト8に入り、近畿大会に出場することができました。近畿大会では、自分たちの持っているすべての力を出し切り、一つでも多く勝てるように頑張りたいと思います。また、来年度の春季大会も記録を残せるように日々練習していきたいです。(男子)

今回の秋季大会は先輩方が引退されてから初めての近畿大会へとつながる大会でした。最初は新しいチームでやっていけるかという不安もありましたが、仲間と一つになってプレーすることができ、それが結果にも結びついたのでよかったです。これからも本番で力が出せるよう、努力していきたいと思っています。(女子)

## 卓球部



## 平成26年度秋季総体等 結果

<b>剣道部</b>	女子 虎姫 2433点 第2位	吉田、ベスト16
女子団体	女子 日比まりあ 952点 第3位	近畿出場枠の敗者復活戦敗退
1回戦 虎姫 2-1 長浜	榎本芳美 820点 第5位	
2回戦 虎姫 3-0 伊香	西川祐加 661点 第7位	
3回戦 虎姫 1-1 安曇川		
4回戦 虎姫 0-5 草津東		
男子団体	以上3名、全国選抜二次予選に進出するも敗退	
1回戦 虎姫 3-2 滋賀短大附属		
2回戦 虎姫 1-2 八幡商業		
男子個人 辻勇輝	卓球部	
	男子学校対抗	
	2回戦 虎姫 3-2 彦根東	
	3回戦 虎姫 3-0 米原	
	準々決勝 虎姫 0-3 草津東	
	ベスト8 近畿大会出場	
<b>野球部</b>	男子ダブルス	
1回戦 虎姫 6-5 東大津	5回戦 森・花澤組 0-3 瀧口・三橋組(近江)	
2回戦 虎姫 1-1 水口	森・花澤組、ベスト16	
<b>水泳部</b>	女子学校対抗	
男子100m平泳ぎ 石原江史朗 9位	2回戦 虎姫 3-0 彦根西	
男子200m平泳ぎ 石原江史朗 9位	準々決勝 虎姫 0-3 滋賀学園	
男子100mバタフライ 西島 功祐 3位	ベスト8 近畿大会出場	
男子200mバタフライ 西島 功祐 2位	女子シングルス	
<b>アーチェリー部</b>	5回戦 関泉美 0-3 世古(滋賀学)	
団体 男子 虎姫 3175点 第3位	関、ベスト16	
個人 男子 弓削元量 1102点 第8位	近畿大会出場枠への敗者復活戦	
高山勇吹 1046点 第10位	1回戦 関 3-0 住若(大津商)	
川崎海志 1027点 第11位	関、近畿大会出場	
飯野貴裕 1011点 第12位	5回戦 坂口萌都 0-3 山崎(彦根東)	
以上4名、全国選抜二次予選に進出するも敗退	坂口、ベスト16	

<b>A・F部</b>	個人戦	宮部・金森ペア	ベスト16
(県体・新人戦)	1回戦 虎姫 0-4 北大津	近畿インドア大会出場	
順位決定戦 虎姫 14-6 八日市			
<b>サッカー部</b>	団体戦		
1回戦 虎姫 2-1 玉川	1回戦 虎姫 2-1 膳所		
2回戦 虎姫 2-1 彦根東	2回戦 虎姫 1-2 水口東		
3回戦 虎姫 1-2 草津東	ブロック予選敗退		
<b>バスケット男子</b>	個人戦		
2回戦 本校 57-49 長浜北			
3回戦 本校 48-75 八幡工			
<b>バスケット女子</b>	2回戦 本校 45-44 国際情報		
3回戦 本校 36-177 近江兄弟社			

<b>バレー部男子</b>	1回戦 虎姫 2-0 八日市		
2回戦 虎姫 0-2 比叡山			
<b>バレー部女子</b>	予選グループ戦 本校 1-2 東大津		
予選敗者戦 本校 2-0 彦根翔陽			
トーナメント2回戦 本校 2-0 長浜北			
トーナメント3回戦 本校 0-2 綾羽			
<b>バドミントン部</b>	男子1回戦 虎姫 2-3 長浜北星		
女子1回戦 虎姫 3-2 立命館守山			
女子2回戦 虎姫 1-3 彦根翔陽			
<b>陸上部</b>	2年男子200M・		
1年女子800M準決勝進出			
<b>演劇部</b>	優秀賞 (2位)		
<b>プラスバンド部</b>	「The Seventh Night of July Tanabata」		
「君の瞳に恋してる」を演奏			
<b>科学探究部</b>	全国英語ディベート大会県予選		
ベストディベーター・遠藤友里菜			
<b>科学探究部</b>	研究発表の部 読売新聞社賞		
展示発表の部 最優秀賞			



高校での私の目標は、インターハイに出場することでした。しかし、虎姫高校は完全下校が早い時間に決められていて、他の私立高校のように長時間練習することができません。そこで私達は、団結して中身のある質の高い練習をするを日々心がけました。その甲斐あって、夏のインターハイに出場することができました。

結果は必ずしも上位に入ることはできませんでしたが、3年生の夏に充実した思い出をつくることができました。今まで支えてくださった周りの方々に感謝したいです。

近畿大会にて、前から4人め・伊吹くん  
5人め・藤森くん

テニス部 3年 藤森



高校2年生の夏、僕たちは県大会ベスト8で、あと1勝というところ

でインターハイへのキップを手に入れることができなかった。その悔しさをバネに1年間部活動以外にも朝や夜に自主練習をした。振り返れば、この1年間はこれまでの人生で一番練習をした期間だった。高校3年生の夏、インターハイ出場決定戦では、チーム一丸となって僕たちを応援してくれた。この応援がなければインターハイ出場は成し遂げられなかっただろう。迎えたインターハイ当日、一回戦負けだったので尚更、応援の力はすごいと思った。これからも周囲の人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、より一流選手に近づけるよう頑張りたい。

## 全国大会に参加して

テニス部 3年 伊吹



## 全国大会に参加して

将棋部 3年 村上 祥代

私は滋賀県代表が決まった時、1年生の時から目標であった「決勝トーナメント進出を絶対に成し遂げる」と決意した。受験勉強や文化祭・体育祭の準備などとの両立は大変だったが、多くの人々の応援や支えがあり、大会まで練習に励むことができた。

結果は、予選3勝で決勝トーナメント進出の目標が達成できた。こうして最後の大会で一番良い結果が出せたのも、応援してくださった先生方や友人のお陰である。

この大会での経験や、お世話になった方々への感謝の思いを忘れずに、これからも将棋を指していきたい。



### 2年 遠藤 友里菜

皆さんはどうして卵があの形をしているのか不思議に思ったことはありませんか。私達はその疑問を『転がり方から考える卵形の利点』というテーマのもと「卵が卵形をしているのは、坂道を転がる時に尖った方を重心にして、カーブしながら転がって止まるからだ」という説が本当かどうか、また別の理由はないのかを物理的に研究しています。

このように私達SSP（滋賀サイエンスプロジェクト）では県内でSSHに指定されている高校から4人1グループで選出され、それぞれが独自の課題で1年間研究を進め、来年3月にイギリスのケンブリッジ大学で研究成果を英語で発表することになっています。

SSPは私達4人だけではなく、県内5校9グループみんなで1つのチームだと思っています。いろいろとお手伝いをしてくださっている先生方にも大変感謝しています。みんなで一致団結して、今年のSSPを有意義な、素晴らしいものにしたいと思います。



英語スピーチコンテスト  
近畿大会にも出場  
2年 遠藤 友里菜



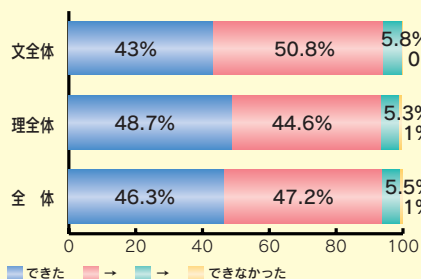




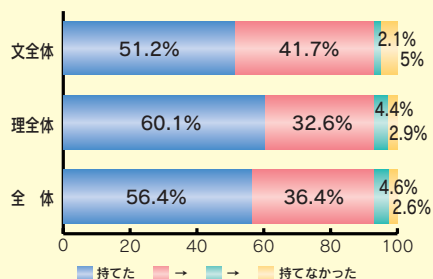
## 平成26年度 SSH10月講演会 「野生生物がみている世界」

10月16日(木)6・7限、全校生徒を対象に、本校体育館でSSH 10月講演会を開催しました。講師は、東京大学大気海洋研究所の佐藤克文先生です。先生は、多くの写真や動画を使って、野生生物の立場に立った視点でみえる世界を語ってくださいました。以下は、アンケートの集計結果です。

### ■ 講義の内容は理解できましたか。



### ■ 講義の内容に興味が持てましたか。



今回の講義を受講して  
感じたこと、考えたこと。

- ◎ 自分の進路と動物の進化を照らし合わせたことがなかったの、こういう見方に感心した。(文)
- ◎ 動物のメカニズムは開発分野にも取り込まれていると聞き、動物たちは長く生き残ってきた私たちの先輩でもあるので、学ぶ事がたくさんあるのではないかと考えた。「全てのものを師と思え」という言葉があるように、成長のヒントは思わぬところにあるかもしれないので、見逃さないような生き方をしていきたいと思う。(文)
- ◎ 先生や親に「効率よく勉強しろ」と言われ続けている私は、自然

- 界では一瞬で死んでしまうだろうと思う。もう少し効率的な生き方ができるよう生活態度を改めたいと反省した。(理)
- ◎ 効率の良いというのが、どういうことかわかった。徹夜して頑張るのがいいことだと思っていたが、この講演で考え方が変わった。(理)
- ◎ 自分の長所を活かせる職業を見つける事が、成功への一歩だと思った。そのために、色々な職業を選択できる立場に立つため、今勉強しているのだと思った。(理)
- ◎ 佐藤さんは研究を楽しんでおられて、講義中もとても楽しそうだった。好きなことを仕事にできるってすごくいいことだなと思った。(理)
- ◎ 海の中は分かっていることが多いのだと思った。だからこそ、ロマンがあると思った。(理)
- ◎ 講義は大変おもしろかったが、600人の中でなかなか質問はできなかった。(理)
- ◎ 文系なので、大学へ行っても、生物の研究などはほとんど関係なくなるが、人間についての話のとき、「自分をどう構築したら生き残れるか」という言葉は、自分でもそう考えながら暮ら

- ていけるのではないかと思った。(文)
- ◎ 小学生の頃、海洋生物学者になりたいと思っていたので、とても興味深く、わくわくする講義だった。人間も動物もうまくやったものが勝つ。能率が重要だという事を様々なデータで示していて、とても納得できた。積極的に自分で考えて自分をプロデュースするという人類の特徴を活かし、これからの人生を切り開いていきたいと思った。(文)
- ◎ 野生生物に対して、疑問を持つ姿勢で、様々な研究が続いている精神が素晴らしいと感じた。この精神から「探究心」というものが生れてくるのだと思う。研究から「うそ」がわかり、新しい「真実」が分かることもあるのだというのも興味深いと思った。(文)
- ◎ もっと最新のハイテク技術を使って調査していると思っていたが、そうではなくてすごく地道な根気のいる作業だった。佐藤先生は人として強いなと思った。(理)
- ◎ 常識だと考えられてきたことが、佐藤さんらの研究によって覆されている。今まで教科書に書かれている内容も数年後には事実



- であるとは言えないかもしれない。当たり前だと思っていることに疑問を持てる視点も必要だと思った。(理)
- ◎ 動物行動学の研究は忍耐が必要なジャンルだと思っていたが、想像以上に大変な研究だと思った。しかしその分発見の喜びは大きいだろうと思った。また、女性の方も活躍されていて、勇気もらった。(理)

## 誰かに守られる存在から、誰かを守れる存在へ

校長 武友 建史

間もなく新年を迎えますが、人間は時の進行とともに様々な学びや体験をしながら齢を重ね、社会の中で次の何かになっていかなければなりません。あるいは何かでなくなっていかなければなりません。子どもたちの場合には入学・卒業あるいは進級といった変化の節目を通してそのことを意識し、今は高校生として大人の仲間入りをする最終の準備段階にあります。そして、やがては彼らが今の大人である私たちを乗り越えて、次の世界を引き受け、守っていきける力を持った存在に成長していくことが、私たちの子育てや教育活動の目的なのだと思います。

その目的達成のためには、私たち大人が彼らに乗り越えられたと実感する日を待ち

望みつつも「そう簡単には乗り越えられないか」として立ち続ける努力をすることが必要でしょうし、彼らが「誰かに守られる存在」から「誰かを守れる存在」へ変わっていく過程を応援する協同者として、家庭と学校が協力していくことが大切でしょう。しかし私たちの多くは、苦勞して子ども達を守り育ててきた思いを断ち切って自立を促していくことの大切さを自覚しながらも、実際にはなかなかそう踏み切れずにいるのではないのでしょうか。

確かに今しばらくは子ども達への経済的支援等が必要でしょう。しかし「自立」という高校期の発達課題を彼らが達成していくためには、大人がどこかで子どもに対する過剰な保護を慎み、適切な子離れをして

いくことが、いつの時代でも求められているのだと思います。

虎高PTA会員の皆様には、これまでに生徒の学習環境改善のために多大なご協力をいただいてまいりましたことに心より感謝申し上げます。その恵まれた環境に感謝し、個人や学校の成長に生かしていくのは生徒と教員の責務です。これから本校教育への忌憚のないご意見をお寄せいただき、子ども達が本当に大切な人や次の世代をしっかりと守れる力を、一緒に育てていきたいと願っております。



1年生

## 『ようこそ先輩』 8月27日(水) 虎姫文化ホールにて

第一線で活躍されている先輩方を招き、パネルディスカッション形式で質疑やアドバイスを頂きながら、生徒の職業観を育て文理選択や将来の進路を考える契機となりました。

### ■パネリスト



橋本 淳氏  
(虎高36回卒)  
(株)3SJP  
代表取締役



松井 善典氏  
(虎高51回卒)  
あざいリハビリクリニック  
院長



近藤 祐子氏  
(虎高56回卒)  
長浜市役所  
市民協働課勤務

### ■コーディネーター(司会者) 茂森 勇人氏 (38回卒：本校PTA会長)



### 生徒の感想

- 高校／大学時代の経験を聞き、人生にはいろいろな道があるのだと思った。また、自分の進める道も無数にあり、2年後それが少しでも増えるように現在を楽しみながら努力することが大切だと伺い、前向きな気持ちになった
- 「やる気が出ないのは勉強が楽しくない時」「勉強以外の楽しみを見つける」「間違ったことやできなかったことばかりに固執せず、良かった部分やできる部分においては自身をほめる事も大切だ」
- 「学習以外のことにもしっかり打ち込み、それを本当に楽しむことができると自分の本当の夢が見つかるかもしれない」
- 過去の失敗や自分ができないことを責めて、そんな自分が好きになれないと今を楽しめない。「過去を無理にでも良かったと思う」という言葉に心の重荷が少し下りたように感じた。

## 『究理Ⅰ』SSH FW 11月21日(金)を中心に実施



### 生徒の感想

- どんな質問にも丁寧に答えていただき、事前に調べていた内容と異なることもあり大変驚いた。
- 長時間の説明もあったが短く感じ、とても興味深いものだった。自分たちが知りたい情報を得られた。
- 事前準備から訪問先へのアポなど初めての経験で大変だったが、教授の先生は大変丁寧に対応・説明をしていただきました。3学期のプレゼンを頑張ろうと思った。
- 各クラス、班毎に広範囲にわたって、しかも自分たちだけで移動し説明を受けてくるという経験は、大変貴重なものになった。訪問先の施設や大学を肌で感じる事ができたり、メンバーと一緒に過ごすことができ楽しかった。



訪問先にて

『究理Ⅰ』の授業において、テーマに従って、研究班毎に地元長浜から福井・京都・大阪・愛知に至る研究関連施設等を訪問しました。

3学期は、各班毎にその成果をまとめ発表するプレゼンがあります。



2年生

## 修学旅行

私たち虎高生は日頃から、自然と触れ合いながら高校生活を送っています。しかし、北海道の雄大で美しい自然の前では、私たちの周囲の自然など、何とちっぽけなものだろうと心の底から感じました。旅行前は、有名というだけの観光地や、美味なるものを意識して計画を立てていまし

実行委員長2年 松本 龍介

たが、実際に北海道の地に立つと、班員全員が自然の素晴らしさに圧倒されて、計画のことなど忘れてしまうほどでした。この時に、実際に体験することの大切さを実感しました。仲間達や先生方、添乗員の皆様のおかげで有意義な旅行となりました。ありがとうございました。



★1日目★(8月31日)  
中部国際空港から新千歳空港まで航空機利用。  
バスにて白老ボロコタン見学 ルスツリゾートホテル泊

★2日目★(9月1日)  
午前 選択別自然体験学習  
午後 全員ラフティング体験 ルスツリゾートホテル泊

★3日目★(9月2日)  
小樽～札幌 班別研修 東京ドームホテル札幌泊

★4日目★(9月3日)  
クラス別研修 ノーザンホースパーク見学 帰途へ

『究理II』の取り組み  
2年 西島 千春

私たちは『究理II』の研究で、クワムシという生物について調べています。クワムシはとても小さいので、見つけるのには根気が必要なのですが、実験を進めていくといろいろなことがわかってたいへん興味深いです。

11月にあった中間発表会では、大学の先生方ははじめ、いろいろな先生方から多くのご意見をいただきました。その意見をしっかり取り入れて、研究をよりよいものにしていこうと思います。

現在は、実験を続けるとともに今までの研究をまとめて英語に翻訳する作業をしています。訳す際には、普段使わない専門的な用語が多くて大変ですが、班員と協力し、切磋琢磨しながら一つひとつ丁寧にしていきたいと思います。



## 受験まっしぐら



### 3年1組 大橋 一成

僕の一日は五時半に始まります。これは部活動の朝練のおかげで身についた習慣で、部活動を引退した今でも続けており、朝の落ち着いた空間で集中して勉強に取り組むことができます。そして夜。とても眠たいです。しかし、部活動の時、うまくいきたい一心で自分を追い込んだように「第1志望に受かりたい」その気持ちが「あともう一間、もう一単語。」と、僕の背中を後押しし、厳しい状況の中でも粘り強く日々努力しています。



### 3年4組 大橋 菜月

受験において大切だと思うのは、気の持ちようと日々の積み重ねです。部活動を引退し勉強の毎日を過ごす中で、自分にとっての夢を目標に頑張ってきました。その努力が結果に結びつき始め、更にやる気に繋がりました。努力は時に期待を裏切りますが、努力せずには結果は出ないので、自分を信じて最後まで頑張ります。今は辛いですが、一生に一度のこの時を悔いの残らないように、周りの友達と励まし合い、共に乗り越えていきたいです。



3年生



### 3年2組 西堀 功基

受験に向けて勉強に力を入れるため、今年度から早朝に勉強するよう自分の生活を変えました。周りの人たちと同じくらいの勉強時間でどうすれば勝てるのかと考えると、その時間のうち眠気を感じている時間をなくすことに至りました。ただ、このようなことはすでにしている、という虎高生は少なからずいることでしょう。というのも、私は学校で購入した教材、学校で薦められた参考書を用いて、ひたすら勉強を続けているだけ、というのが正直なところなのです。



### 3年5組 是洞 陽香

私には叶えたい夢があります。私にとって受験は夢を叶えるための大切な一歩です。勉強が得意ではない私は、友達がすぐに理解できることも時間がかかってしまいます。だからこそ、勉強に対して真摯に向き合うことを一年生の頃から心がけてきました。与えられた課題は必ずやりきる、わからないことは何度も先生や友達に聞く、補習など自分の力になりそうなことには進んで参加する……。ごく当たり前のことだけれど、これが私にできる一番の受験対策だと思って取り組みました。

私の夢への挑戦は今、始まったばかりです。コツコツと地道に取り組むことが実は夢への一番の近道だと信じてこれからも頑張ります。



### 3年3組 野崎 勝也

受験。それは自分が想像していた以上に大変なものでした。部活動中心の生活から勉強中心の生活に完全に移行し、日々勉強のことばかり考えて生活しています。

しかし、この苦しい受験勉強の中で、僕は改めて友達の大切さを実感しました。クラスメイトにせよ、部活動の友達にせよ、切磋琢磨して、自分を成長させてくれます。またどうしても精神的に不安定になるこの時期、共に頑張る仲間がいるのは、とても心強いです。

入試が近づくにつれて身体的、精神的に苦しくなってきましたが、大切な仲間と共に、近づく入試、そして自分の未来のために、日々自分のできる最大の努力をしています。





7/9(水)・10(木)

## クリエイティブの部

	最優秀賞	優秀賞
1年音楽フェスタ	1年4組	1年3組
2年クラス企画	2年3組	2年2組
3年クラス劇	3年2組	3年3組



# 虎

## 2014







7/11(金)  
**スポーツの部**

	第1位	第2位	第3位
クラス対抗リレー	2年2組	3年1組	1年6組
応援合戦	3年3組	3年2組	3年4組
総合競技の部	2年2組	3年1組	3年2組





## 滋賀県立・龍谷大学

## 京都工芸繊維大学

## 大阪大学

7月22日(火) 滋賀県立大学

8月19日(火) 龍谷大学

参加人数 11名 (化学分野)

## 生徒の感想

○今回この講座に参加して、たくさんのことを学ぶことができました。土のことについて、広範囲に渡って教えていただいて、土のことについて興味をもちました。地球は「水」と「土壌」からできていることを忘れないでたいです。また、実験では、今まで使ったことのない器具などを使って、使い方などを学ばせていただきました。そして、一番理解したのは地球の土の様子です。また、機会があれば、地域のことについて調べたいと思いました。

○今回の実験は内容が難しくて、事前学習でクロマトグラフィーのことを少し勉強したとはいえ、やはり理解できるか不安でしたが、長い待ち時間の間にいろいろなことを説明して下さったり、質問にとてもわかりやすく答えて下さったりしたので、思っていたよりは理解して実験を終えられました。液体と気体という2つの種類のクロマトグラフィーの実験を体験でき、初めて聞くことも多かったですが、おもしろかったです。本来は大学3年生が行う実験と聞いて、今この実験をできたことはとても貴重な経験だと思いました。



7月31日(木) 8月1日(金)

参加人数 27名 (化学分野)

## 生徒の感想

○講義の時間では、化学について深い所まで教えていただいた。普段の授業では教えてもらえない化学の歴史など興味深い話があった。実験では、1日目と2日目とも手順を丁寧に教えてくださったので、大きなミスもなく終わることができた。こういった経験はなかなかできないと思うので、準備をくださった大学の先生や学生の方々に感謝したい。

○高校で学ぶことのできない多くの内容をわかりやすく濃く教えていただき、いつもと異なる環境でよい刺激を受けることができました。基本ができていないため今回の授業は難しく思える部分が多々あり、自分の力のなさを痛感しました。大学はよい所だとわかったので、この経験を糧に頑張りたいと思います。



8月7日(木) 1泊2日

参加人数 物理分野 13名

## 生徒の感想

○今回は、大学教養程度の実験や自分たちの探究実験を行ったけれど、大学の先生方や虎高の先輩方のおかげでスムーズに進めることができた。自分としても頭をフル回転させて充実した二日間をすごすことができたと感じている。

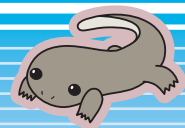
○自分たちで事前に考えたことを長い時間かけて実験するということはとても楽しかったし、とてもよい経験になった。将来は、理学部や工学部の方面への進学を考えたいと思う。

○今回関わって頂いた方々は、どの人も親切、丁寧に対応して下さいました。質問をすると、その倍の回答が返ってくるほど、たくさんの知識を発信して頂いたことが本当に嬉しかったです。結果としてレポートの出来はとてもよいものだったとは言えませんが、限られた時間の中で作ることに価値を見いだせました。産業科学研究所でも、専門的なことをたくさん吸収することができ、知識の幅を拡げることができました。楽しくもあり、とても大変な二日間でしたが、とても有意義なものにできてよかったです。





# PTA 講座



## 滋賀医科大学

8月18日(月) 19日(火)

参加人数 医学コース 17名  
看護コース 14名  
計31名

### 生徒の感想

- 初めて知ることや関心を改めてもらったことがたくさんありました。やっぱり、知識も大切ですが、それだけでなく人と触れあっておられる方にしかわからない人の気持ちであったり、人のそれぞれの状況から来る思いであったりそういったことを知ることができたのも良かったです。3Dを見せていただくという貴重な体験もしました。
- どの講座も興味を持てるものばかりでした。実際に体験したり、ディスカッションをすることで、より強く興味を持ちました。病院内の看護実習する場を見学させていただいて、体験させていただいたことで、より看護師として働いてみたいという思いが湧きました。自分の身近にある内容の中に専門的なお話があって、イメージしやすかったです。
- 今回この講座に参加する前は、私の中で医学という選択肢はなかったのですが、先生方の丁寧な説明などを聞いて、興味をもつことができました。進路決定する上で、よい経験になりました



## 金沢大学

8月20日(水) 21日(木)

1泊2日

参加人数 73名  
『地域創造』『法』『国際』『人文』『学校教育』『経済』の6学類を受講

### 生徒の感想

- 今までそんなに気にしていなかった「ルール」というものを深く知ることができた。全員が納得するルールを作るのは難しいことであることも知りました。高校ではあまり経験したことのないグループワークも体験できて良かったです。
- 点字ブロックは目の不自由な方には必要で“バリアフリー”と言うことができるけれど、車いすの方には凸凹して逆に辛く、一つを重要視してしまつたらもう片方はおろそかになってしまうと聞いて、本当にそうだと思いました。
- 今、日本が直面している「領土問題」の背景には、ナショナリズムや両国民が持つアイデンティティが深く関わっていることを知り、とても驚きました。1つの問いに対して様々な視点で分析して、新しい答えを自分で出せた気がして楽しかったです。



## 滋賀県立大学

8月20日(水) 21日(木)

参加人数 30名(物理分野)  
10名(生物分野)  
計40名

### 生徒の感想

- 普段学校の授業で学ぶことのできないエンジンや燃料についてより深く学ぶことができてよかったです。午前中に講義を受けて、午後に実習をしてとても充実した2日間になりました。高校では、屋外で実験をしたり、90分の授業を受けたりすることはあまりないので、そういう意味でも理系の大学に行く上でとてもためになりました。
- 僕は県立大学の環境科学部には興味があったので、この講座に参加できて本当によかったです。1日目では大腸菌に緑色蛍光遺伝子を導入させるといったもので、学校の授業ではしないような実験なので、とてもおもしろかったです。2日目のプランクトンの観察でミジンコを使った摂食速度とろ過速度を出す実験など、これもまた体験したことのないものだったのでとてもおもしろかったです。
- 学校で使わないような実験器具を使って、自分で予想して実験することがとても楽しかったです。以前よりもさらに理科や数学の授業の大切さを感じ、さらに意欲を持ってこれからの授業に活かしていきたいです。



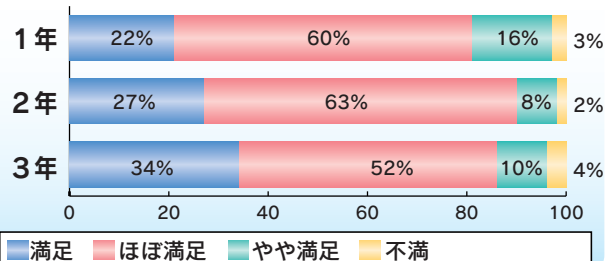


## 「生徒の生活と学習に関するアンケート」結果

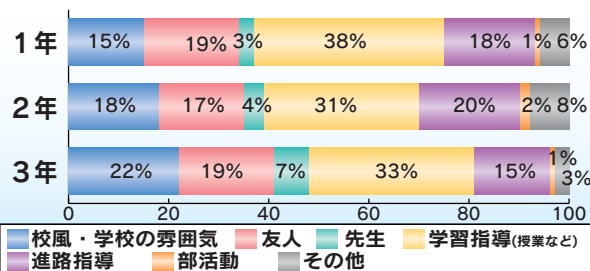
(平成26年10月18日実施)

## 毎日の生活全般について

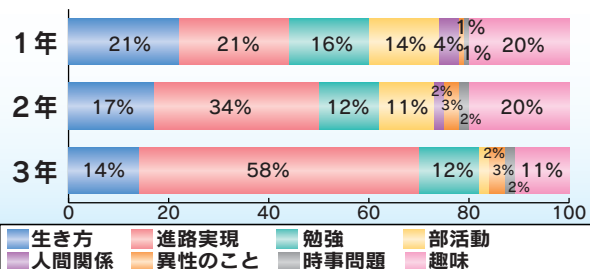
## 1 虎高での高校生活に満足していますか。



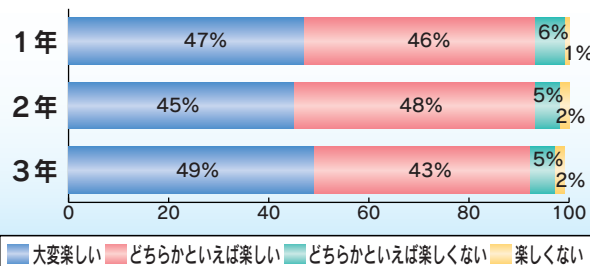
## 2 あなたは、本校の教育の中で何に最も期待していますか。



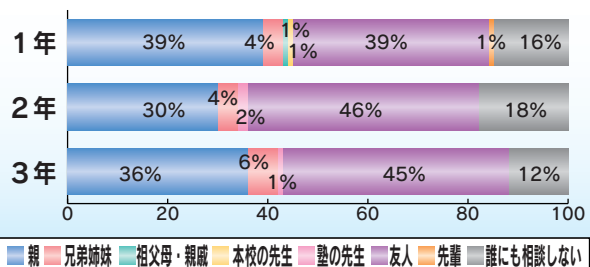
## 3 今、最も関心を抱いていることは何ですか。



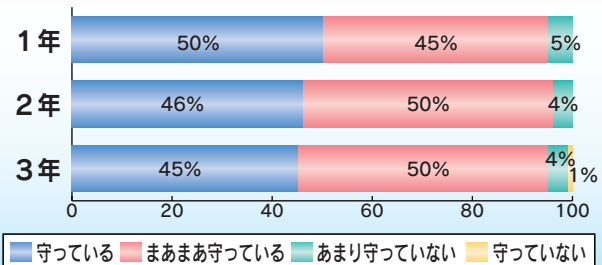
## 4 HR(クラス)は楽しく充実していますか。



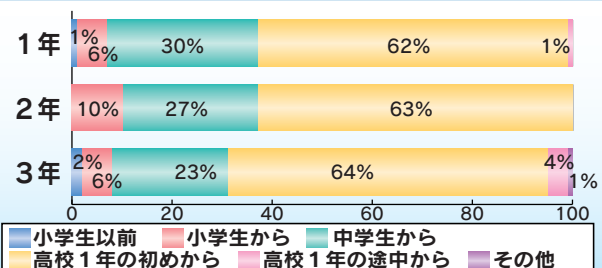
## 5 悩みや心配事を相談するときに誰に一番に相談しますか。



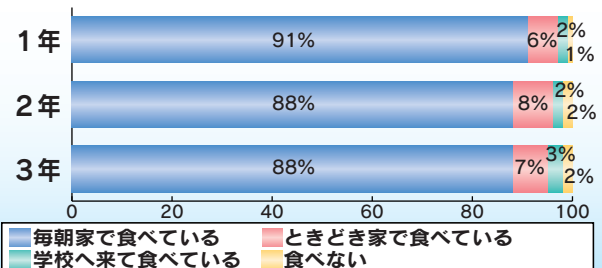
## 6 虎高の校則についてどのようにしていますか。



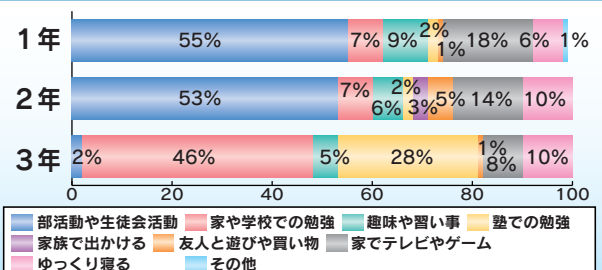
## 7 携帯電話などをいつ頃から持っていますか。



## 8 毎朝、朝食を食べていますか。



## 9 休日の過ごし方として最も多いものは何ですか。

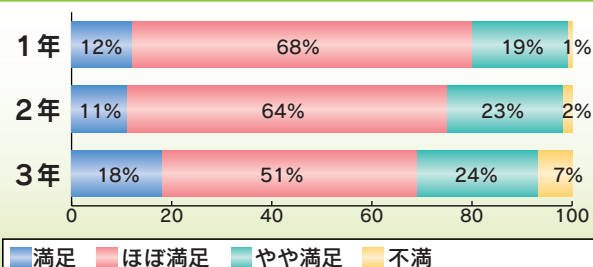




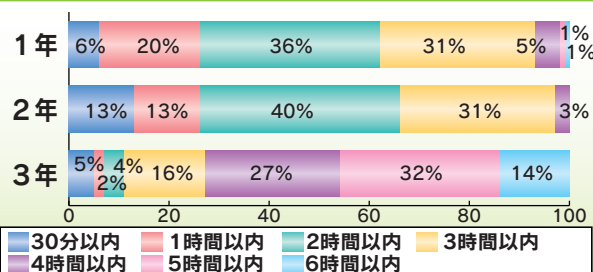
## 授業・学習について



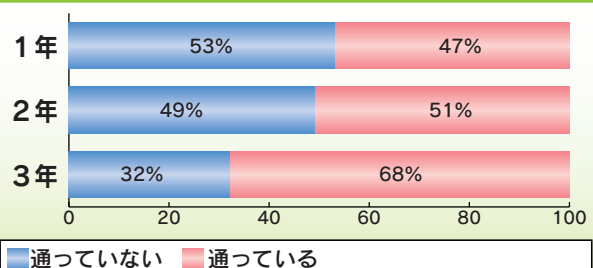
### 10 虎高での授業全般に満足していますか。



### 11 1日の学習時間(平日平均)はどれくらいですか。

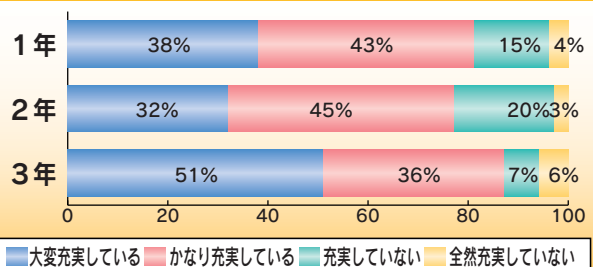


### 12 学習塾や予備校に通っていますか。



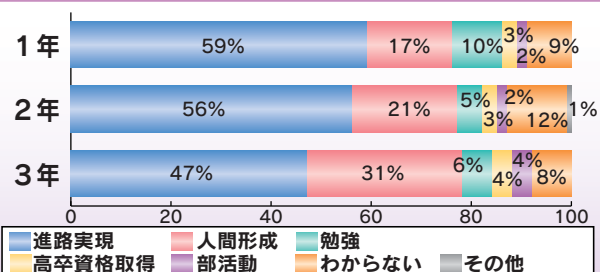
## 部活動について

### 13 所属する部活動は充実していますか。

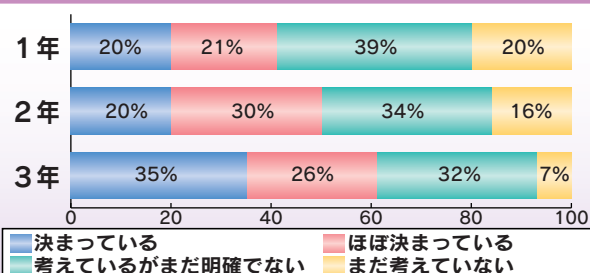


## 自分の人生設計について

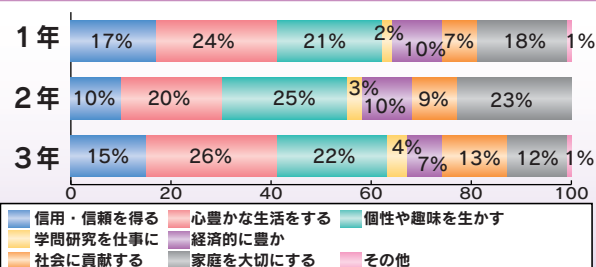
### 14 高校生活の意義をどのように考えていますか。



### 15 将来つきたい職業が具体的に決まっていますか。



### 16 将来どのような生き方を望んでいますか。





## 第2回「おやともの会」

今年2回目となる「おやともの会」が11月8日土曜日の午前中、「虎高・滋賀教育の日」という授業公開日にあわせて開催されました。参加者は35名。河合塾の森脇先生のお話の後、5つのグループに分かれ、ケーキと飲み物を囲んで、和やかに親同士の親睦が深められました。以下参加者の感想です。



### (3年保護者)

- ・今日はお世話になり有難うございました。河合塾の先生のお話、とても参考になりました。模試でD判定でも合格できるかも…という話に驚きました。毎日、勉強を頑張っているの、あたたかく見守りたいと思います。お母さんたちの話も共感できる部分が多く楽しかったです。
- ・気楽に話をさせていただきました。
- ・色々な学年、立場のお母さん方とお出会いき、入試のこと、学習のこと、部活のことなどお話でき、よかったです。
- ・河合塾の先生のお話は、とても為になりました。これからの受験生生活の励ましにしたいと思います。がんばっている子供に「つかず、はなれず、さりげなく」でつきあっていきたいです。親さんとの話し合いはなかなかない機会なので、同じ悩みをもっておられたり、共有できることができ、ありがたい時間でした。これからも“おやともの会”を続けていただきたいです。
- ・子どもが安心して受験を受けられるような（精神的・金銭的）言葉かけをしていきたいと思いました。D判定が大丈夫と聞いて本当にほっとしました。有難うございました。
- ・皆さんのお話を聞けて参考になりました。
- ・他の親さんとの意見交換ができ、たくさんの知らなかった情報が知れて勉強になりました。私は日頃フルタイムで仕事をしているので、こういう情報交換の場は大変ありがたいです。

### (2年保護者)

- ・知らない方ばかりで緊張しましたが、いろんな情報が得られてとてもよかったです。
- ・3年生の親御さんのお話をきいて、今後の参考になりました。河合塾の先生が、目標を高く持って、最後まであきらめずに頑張ることをお聞きして、子どもを最後まで、今の目標に向かって応援していきたいです。

- ・今回初めて参加させていただきました。思っていた以上に有意義な時間で、いろいろと参考になりました。高校生になると、親同士のつきあいもなかなか難しくなりますので、ありがたい時間でした。
- ・大変有意義な時間でもてました。有難うございました。
- ・国公立の受験について教えていただき参考になりました。また、子供に関し自分と同じ悩みを持たれている親御さんと話をすることができ、楽しい時間を有難うございました。
- ・3回目の参加ですが、毎回いろんなことを勉強させてもらっています。有意義な2時間でした。

### (1年保護者)

- ・スマホについて参考になりました。受験について、少し知ることができてよかったです。
- ・親同士の悩みや体験が聞けて大変ためになりました。
- ・今回参加させていただいて本当に良かったです。色んな焦りの気持ちもありましたが、お話させていただいたり、聞かせていただくことで気持ちが楽になりましたし、今日からの親の家での接し方を変えていきたいです。
- ・河合塾の講演会は色々知らないことがあったので、お話を聞けてよかったです。
- ・初めて参加させていただき、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。たくさんの方々のお子さんや、家での話を聞けて、大変参考になり、知らなかったことも教えてもらえてよかったです。河合塾の森脇先生のお話もとても色々な情報を教えていただけて来てよかったと思います。又、次回も参加したいと思いました。
- ・それぞれの子どもによって、お母さん方の悩みも様々だと感じました。色々な話が聞けてよかったです。河合塾の先生のお話も初めて知ることもあって、大変良かったです。ありがとうございました。
- ・河合塾の先生のお話で、D判定なら受けられるチャンスがあるとわかり、ホッとしました。同じ境遇のお母さんがおられて、とても参考になりました。いろんな情報が聞けて良かったです。





参加者

講演中の茂木氏

# 全国高等学校PTA連合会大会

展示コーナーの遠景

## 第64回全国高等学校PTA連合会大会

### 福井大会に参加して

研修委員長 野瀬 謙治

去る8月22日、23日、「教育と考福」をメインテーマとし、未来に引き継ぐ知と恵みをサブテーマに掲げ開催された福井大会に、虎姫高校PTAより茂森会長はじめ9名が参加させていただきました。

開催地福井のメイン会場「サンドリム福井」の他6会場には北海道から沖縄まで全国各県から一万人の高校PTA関係者が集い、各会場で両日にわたり、子どもたちの「しあわせ」についてPTA活動の更なる深化を目指すべく、8月の暑さにも負けない熱い、熱い大会でした。

福井県の教育は、福井型18年教育を掲げ誕生から高校3年生までの18年をトータルに考え、学校や家庭、地域が手を組み、子どもたちの発達段階に応じて、より高い力を身に付けることができる教育を目指しています。特に幼児教育と18年教育の出口部分で社会に最も近い高校教育の充実が大きな柱として進めています。また、小学生、中学生の全国学力・学習状況調査では毎年全国上位に位置しています。その背景には昔も今も地域ぐるみ、家庭ぐるみ、学校ぐるみで地道な取り組みを続けてきたため、高い学力を維持しているとのことでした。

開会前には、福井県吟剣詩舞道連盟の皆さんにより演舞の歓迎を受け、他にもミニライブ、吹奏楽部の演奏、チアリーダー部の演技等々、盛沢山

のアトラクションにも感銘しました。開会式では、8月20日に発生した広島市大規模土砂災害により被災された方々への追悼やお見舞いに始まりました。全国高等学校PTA会長の「社会の変化は激しく次々と課題が押し寄せてくるなか、10年、20年後を思い描き『未来に引き継ぐ知と恵み』となるよう熟慮と熟議に努めましょ」との挨拶や下村博文文部科学大臣から昨今の教育事情についてなど拝聴しました。表彰式では、前滋賀県PTA連合会会長（本年度本校教育振興会会長 藤居敏さんが、その功労を称えられ表彰お受けになりましたので、ここで報告させていただきます。

続いての基調講演は、脳科学者の茂木健一氏で、脳は一生、学び続けることができる。新しいことに挑戦し続けることで、若々しい脳を保つことができる。学びにおいて、最も集中している状態を「フロー」と言い人々は深い喜びを感じる時であるなど、学びと幸せを脳科学から分るなりやすく解説いただきました。小生の脳もまだまだ活発化させる自信となりました。

お昼には、福井の健やかな子どもやご長寿を育ててこられ、福井の食料をふんだんに使った伝統的な郷土料理のお弁当を美味しく頂き少し休憩。

その後の研究発表は、藤居敏さん

司会で現役高校生らによる、進路選択と親子のコミュニケーションを題材としたディスカッションでは、高校生と我が子をタブラす私が居たことを思い出します。

二日目には、福井県立恐竜博物館、特別館長の東洋一氏による講演で、福井県で発掘された恐竜を調べることでよって世界の恐竜が見えてくるなど、興味深い話に聞き入りました。この二日間は、本当に貴重な体験の機会をいただき大変感激いたしました。

結びとして、本大会の大会宣言の一節に『子どもたちが人生を大切に考え、自分の将来に真面目に向かい合い、志を立て、職業意識を形成し幸福な未来を実現するために、「家庭」「学校」「地域」が、共に学び連携し「継続的な支援に努める」とありました。

いつの時代も、子どもたちの健やかな成長と幸福を願う保護者の思いは同じです。共に学び連携して皆さまと共に虎高PTA活動の更なる深化をめざしましょう。

司会中の藤居さん





## 編集後記

2学期もたくさんの行事がありました。その様子が少しでも伝われば…という思いで、「見やすく」「読みやすい」広報誌作りに努めてきました。編集作業を行いながらも、委員さんまでもが黙って見入り黙り込んでしまうほどの内容の濃いものばかりであると自負しております。学校行事然り、PTA活動然り。

また、このような虎高で過ごした3年間で、子ども達の『未来を切り開く力』となり、個々の目指す「夢」を必ずや叶えてくれると信じています。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

多賀 記